

2日間

令和4年

1.29 (土)

1.30 (日)

ビッグデータ、  
IoT時代のための



入門講座

②

情報化技術のめざましい進歩は、社会のあらゆる領域に多大な影響を与えています。とりわけ、ビッグデータはIoTの発達で容易に収集できるようになり、AIの発達によって分析・活用されつつあります。

こうした技術とはどのようなものかをひもとく講義を午前に行い、午後にはAI活用で多用されるプログラミング言語Pythonによるプログラミングに取り組みます。

この講義を通して、AIの基礎を知り、来るべき時代を乗り越える力を身につけませんか？

※本講座は昨年度および、11月13日、14日に実施した講座と同様の内容になります。

主催

兵庫県立大学

公益財団法人新産業創造研究機構(NIRO)

兵庫県立神戸高等技術専門学院

お申込

裏面の注意事項を確認のうえ「学院HP→(在職者訓練)」からお申込みください。

申込み期間: 12月14日(火)～1月14日(金)まで



エントリー  
QR

※抽選により決定し、  
メールでご案内いたします。

会場

スペースアルファ三宮 中会議室3

(三宮センタープラザ東館6F) 神戸市中央区三宮町1-9-1

対象

ビッグデータやIoTに興味があり、

将来AIを活用しようとする兵庫県内の企業の方

その他

実習では、Google Colaboratoryを用いた実習を行う予定です。

インターネットに接続できるPCをご用意ください。

教室にはインターネット環境(Wi-Fi)があります。

定員 10名

参加費 3,500円  
(税込み)

お問い合わせ

兵庫県立神戸高等技術専門学院  
在職在職者訓練担当  
TEL 078 - 794 - 6633

神戸高等技術専門学院 在職者訓練

検索

公式サイトはこちら

<http://www.kobe.kgs.ac.jp/>





# AI入門講座②

令和4年 1.29 土

10:00 ~ 12:00

講義 現代AI事始め

産業界で不可欠となった現代AIの基礎技術である機械学習、特に深層学習(ディープラーニング)を中心に発展過程や基礎を学ぶ。

13:00 ~ 17:00

実習 AIのためのPython入門

AIの実装においては、現在Pythonと呼ばれるプログラミング言語が広く普及しており、これを習得することが現在AIを学ぶ上で不可欠である。実習ではPython言語の基礎を学ぶ。

令和4年 1.30 日

10:00 ~ 12:00

講義 機械学習の基礎技術

画像認識や音声認識などの各種応用に触れながら、機械学習、特に深層学習の基礎であるニューラルネットワークの基礎技術を中心に学ぶ。

13:00 ~ 17:00

実習 PythonによるAI実装入門

Pythonの代表的な機械学習ライブラリであるscikit-learnを用いると様々な機械学習手法を試すことができる。このライブラリを利用して、分類や認識のためのAI実装の基礎技術を学ぶ。

松井 伸之氏

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構  
人工知能研究教育センター研究部長

2021.3.28

神戸新聞  
朝刊掲載

教えて!先生

兵庫県立大学人工知能研究教育センター  
研究部長

松井伸之名誉教授

## 事故時の説明責任も研究

人工知能(AI)の研究は1950年代に始まり、2016年に囲碁のトップ棋士を破って一躍注目されました。画像や音声認識する技術も飛躍的に向上し、自動運転は「目」と「耳」を獲得したと言えます。人間の脳は「集中」するこ

とで目の前の光景の中から注意すべき領域を選び出し、情報を効率よく処理します。AIにもこの原理が導入され、画像認識が向上しました。今や、画像認識でミスを犯す確率は人間以下になっています。

ただし、道徳や倫理的な問題があります。例えばの想定ですが、車のブレーキが壊れ、直進すれば大人5人をはね、ハンドルを切れば子ども1人をはねる状況になったとする。どちらを選ぶべきか。誰も答えは出せません。

AIの判断過程はブラックボックスな面があります。事故の説明責任のため、判断理由を明示できるAIも研究されています。

磯川 悌次郎氏

兵庫県立大学大学院工学研究科電子情報工学専攻 准教授  
兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 人工知能研究教育センター副センター長

自然計算に基づく人工知能技術およびナノコンピューティング、分子ロボティクスなどに関する研究を展開している。

### ◆ 注意事項

- 受講料は、別途「納入通知書」を郵送しますので、納入期限までに金融機関(ゆうちょ以外)で納入のうえ、領収書を受講初日にご持参ください。
- 勤務先名にてお支払いの場合は「納入通知書」を勤務先に送付いたします。
- 受講ができなくなった場合、学院までFAX(078-794-6637)でご連絡ください。1月25日(火)までに連絡があれば受講料を返金します。連絡がない場合は、全額負担していただきます。